

事業所名

フレデリーさんじょう

## 支援プログラム

作成日

令和7年

1月

6日

法人（事業所）理念	あたらしい福祉のカタチを模索し、常に地域のニーズ、時代のニーズに合わせて柔軟に障害福祉サービスを提供する						
支援方針	小集団療育：小集団の中で、お子さん同士のやりとりをスタッフがサポートし、コミュニケーション力や社会性を育む支援を行う 個別支援：個別に時間を設定し、専門的なアセスメントに基づいて、お子さんの発達課題に合った支援を行う お子さんやご家族が安心して学校生活、社会生活を送れるようにサポートする						
営業時間	平日 学校休業日	10 9時	0 0分から	18 17時	0 0分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	○来所から退所まで身の回りのことを自立して取り組めるようにサポート ○手洗いなどの衛生的に行えるように付き添い ○使ったら片づける、時間を見て行動するなど、見通しをもって生活習慣や生活リズムの形成でき、基本的な生活スキルの獲得					
	運動・感覚	○学習等の課題に取り組む際に座る姿勢保持や、両手を使う事を意識した体の使い方のサポート ○風船バレーなどの全身運動や、バランスボードなどを使いバランス感覚を遊びの中で鍛える支援 ○感覚過敏用のイヤーマフ配備し子どもが状況に応じて自分から付けることができるように環境設定					
	認知・行動	○数や量、時間などの算数的要素を遊びの中に入れた支援 ○ブロックを使った空間把握の認知形成 ○自己と他者の認識、感覚の違いなどコミュニケーションを通して一緒に考える					
	言語 コミュニケーション	○遊びの中で出てくる自然な会話の中でコミュニケーション力の基礎的能力の向上 ○机上課題でSSTを提示し、場面に応じたコミュニケーション手段の選択と活用 ○言いたい事を伝わり易い言い方へ言語化し相手に伝える					
	人間関係 社会性	○机上のSSTの中で他者との関わり(人間関係)や気持ちの想像 ○遊び中心にした通じた社会性の発達(物の貸し借り、ルール、順番など) ○自己の理解と力加減や声の大きさなどの行動の調整					
家族支援	保護者へお迎え時に最近の様子の確認を行い、相談がある際は事業所内での相談を行います。また、ご家族のご希望に応じて保護者と一緒に個別支援を受けることができ、お子様に対する理解、対応について情報共有を図るようにしています。			移行支援	お子さんやご家族への進路情報提供の他、必要に応じて、退所前に進路先へ伺い、支援情報の共有等を行う		
地域支援・地域連携	学校や併用している事業所と情報共有、協力を行う 地域の団体やお店と協力して活動を行う			職員の質の向上	児童発達支援管理責任者、強度行動障害支援者養成研修等の資格取得支援、スキルアップのための定期的な研修を行う		
主な行事等	専門職による運動教室、手先を使ったワークショップ、地域に開放したマルシェイベント、外出体験、買い物体験等、保護者会						